

令和7年度補正予算「省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業費補助金」
「工場・事業場型」における『先進設備・システム』公開用概要書

製造会社情報（コンソーシアムの場合は、幹事社）

設備/システム名	水素炙りバーナー
製品種別	エネルギー負荷設備（本体設備）
型番	AB-100
会社名	株式会社H2&DX社会研究所
本社所在地	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館6F
会社WEBページURL	https://h2dx.co.jp/
製品紹介ページURL	https://h2dx.co.jp/menu/hydrogen_cooking/

製品についてのお問い合わせ先

連絡先	info-h2dx@h2dx.co.jp
-----	----------------------

登録設備情報

導入可能な主な業種・分野	E. 製造業	M. 宿泊業、飲食・サービス業	
導入対象となる分野・プロセス	炙り工程、仕上げ工程、表面加熱工程、表面殺菌工程		
導入事例の省エネ量（原油換算：k1）	0.0		k1/年
工場・事業場当たりの想定省エネ率	—		%
設備・システム当たりの想定省エネ率	—		%
導入事例における費用対効果（年間）	—		k1/千万円
1台又は1式当たりの想定導入価格（参考）	6800,000		円
保守・メンテナンス等の年間ランニング費用	150,000		円/年

製品・システムの概要

本設備は、水素ガスを燃料として利用する世界初の業務用水素炙りバーナーである。従来の都市ガス又はLPガスを使用する炙り工程を水素燃焼方式へ転換することで、CO ₂ 排出量を実質ゼロとすることが可能である。 高温火炎による表面加熱及び炙り調理が可能であり、飲食店、ホテル、旅館及び食品工場等における仕上げ工程や表面殺菌工程への適用が期待される。 既に複数の導入実績を有している。
--

先進性についての説明

本設備は、従来の化石燃料を使用する炙り設備を、水素ガスのみを燃料とする専焼方式へ転換した世界初の業務用炙りバーナーである。 燃焼時にCO ₂ を排出しない非化石エネルギーである水素を活用することで、炙り工程及び仕上げ工程の脱炭素化を実現している。また、水素燃焼による高温火炎を利用することで、短時間で効率的な表面加熱が可能であり、品質向上と環境負荷低減を両立している。 業務用炙り設備として水素専焼方式を実用化し、既に複数の導入実績を有する点において高い先進性を有している。
--

製品・システムの概要・イメージ図



導入事例の概要・イメージ図

業種・分野	宿泊業・飲食サービス業	対象設備・プロセス	炙り工程・仕上げ工程
【導入施設】 旅館「円かの杜」（神奈川県） 【導入設備】 水素炙りバーナー 1台 【導入内容】 従来のLPガス炙り設備を水素炙りバーナーへ更新し、仕上げ工程の脱炭素化を実施。 【導入効果】 燃焼時のCO₂排出量を実質ゼロ化するとともに、高温火炎による均一な表面加熱が可能となり、料理品質の向上に寄与している。			
			